

<報道発表資料>

令和8年7月3日

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

第283回市民狂言会 子ども×保護者向け特別体験の実施

京都観世会館の舞台と舞台裏の見学及び狂言体験を実施します。

京都市では、昭和32年から大蔵流茂山千五郎家・忠三郎家のご協力のもと、市民の皆様
に親しまれる狂言会として、「市民狂言会」を開催しています。

この度、令和8年8月21日に実施する第283回市民狂言会において、子どもとその保
護者を対象として、狂言師の案内による舞台、舞台裏の見学及び狂言体験と公演を鑑賞する
ことができる特別体験を実施いたします。



「犬山伏」(撮影：桂秀也)

【実施概要】

- 日時 令和8年8月21日(金) 午後5時30分～9時
・特別体験 : 午後5時30分～6時15分(受付: 午後5時～)
・市民狂言会: 午後7時～9時
- 案内 茂山千五郎

【プロフィール】

1972年7月7日生まれ。五世茂山千作の長男。
3才で初舞台。2016年十四世茂山千五郎襲名。
400年続く名家「茂山千五郎家」の当主として一門の役者を
束ね、国内外への狂言の普及、発展に努めている。



- 内容 京都観世会館の舞台、舞台裏の見学
※舞台に上がるため、白足袋又は白靴下をご持参ください。
舞台上で狂言の所作を体験(子どものみ)
第283回市民狂言会の鑑賞(1F指定席)
- 場所 京都観世会館(〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町4-4)
- 対象 市内に在住又は通学している小学生、中学生とその保護者

- 定員 40名（20組程度）
- 参加費 子ども（小学生・中学生）及び保護者の1組で3,000円
※一般1名分の料金で、特別体験にご参加いただけます。
※子ども2人目以降は、1名につき1,000円を追加でお支払いください。
（保護者1名につき、子どもは最大3名まで参加可能です。ただし、舞台のスペースに限りがあるため、当日の飛び入り参加はご遠慮ください。）
- 申込 令和8年7月6日(月)～令和8年8月7日(金)に、以下チケット販売サイトからお申込みください。（先着順）
<https://teket.jp/15894/72436>
- 主催 京都市、公益財団法人京都市芸術文化協会
- その他 特別体験参加者には特典として、狂言や能を解説する冊子「能楽入門の入門」をお渡しします。
- 公演のみ鑑賞希望の方
公演のみの鑑賞を希望される方は、以下のサイトをご覧のうえお申込みください。
<https://www.kac.or.jp/events/20260821/>

【第283回市民狂言会 番組及び出演者について】

番組及び出演者は別紙参照

※出演者・演目順は都合により変更する場合があります。

<お問合せ先>

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

電話：075-222-3119



令和8年度市民狂言会

会場 京都観世会館 出演 茂山千五郎家 茂山忠三郎家

第282回令和8年6月19日(金) 第283回令和8年8月21日(金) 第284回令和8年12月4日(金) 第285回令和9年3月12日(金)

いずれも午後6時30分開場・午後7時開演

令和8年度 市民狂言会

1957年から続く市民狂言会は、大蔵流茂山千五郎家・忠三郎家のご協力のもと、市民の皆さまに親しまれてきました。令和8年度も、各回の初めに演目の解説を行い、年間を通して、初心者、お子さま、どなたにも狂言をお楽しみいただける機会として、年4回開催いたします。

主催：京都市、公益財団法人京都市芸術文化協会

会場：京都観世会館 左京区岡崎円勝寺町44 / 電話：075-771-6114

主なアクセス

- ・地下鉄東西線「東山駅」1番出口から徒歩約5分
- ・京都市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩約3分
- ・京都市バス「東山仁王門」下車、徒歩約5分

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

※京都観世会館東隣に有料駐車場があります。
近隣の催し等で込み合う場合があります。

チケット：

S席 1階 指定席	年間席礼 ★	13,000円
	一般 前売券	4,000円
	一般 当日券	4,500円
A席 1階 指定席	年間席礼 ★	11,000円
	一般 前売券	3,000円
	一般 当日券	3,500円
	キャンパス文化 ● 前売券・当日券	1,500円
	高校生以下 ▲ 前売券・当日券	1,000円
B席 2階 自由席	一般 前売券・当日券	2,000円
	高校生以下 ▲ 前売券・当日券	1,000円

★全4回分の指定席券。令和8年3月31日(火)まで販売。

取扱は京都芸術センター窓口のみ。

▲学生証をご提示ください。

●京都市キャンパス文化パートナーズ制度加入学生は、A席を1,500円でご購入いただけます。取扱は京都芸術センター窓口のみ。
学生証および携帯会員証をご提示ください。

取 扱：京都芸術センター窓口(10:00-18:00、休館日を除く)
チケットぴあ

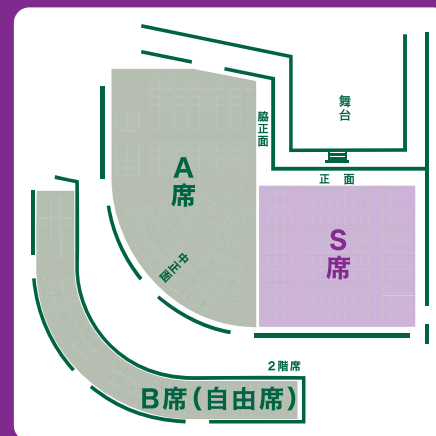
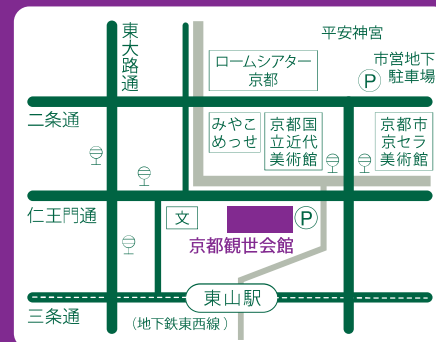
発売日：282回 4月11日(土)〈Pコード：540-496〉
283回 6月20日(土)〈Pコード：540-497〉
284回 8月22日(土)〈Pコード：540-499〉
285回 12月5日(土)〈Pコード：540-500〉

お問合せ：京都芸術センター

中京区室町通錦薬師下る山伏山町546-2 / 電話：075-213-1000
URL：<https://www.kac.or.jp>
E-mail：info@kac.or.jp



撮影：桂秀也



第282回 令和8年6月19日(金)
午後6時30分開場・午後7時開演

解説

伊文字

いもじ

道通りの男
主人 茂山 茂
島田 洋海
太郎冠者 茂山千之丞

いつものように神仏に妻を乞う主従。
醜女登場と思いきや？

後半は、まったく別展開？ 珍しくも一人二役で？

京童

きょうわらんべ

茂山あきら

宇治の晒

うじのさらし

松本 薫

京の童の遊びを描き、
宇治川の千鳥の鳴く冬景色を望む 名作二題。

昆布売

こぶうり

大名 茂山 宗彦
昆布売 山下 守之

昔より御食國と呼ばれた若狭、
若狭の昆布売、都へ売りに行く道中
大名相手に一騒動！

第284回 令和8年12月4日(金)

午後6時30分開場・午後7時開演

解説

空腕

そらうで

太郎冠者 茂山千五郎
主人 鈴木 実

実力もないのに、自慢話をする人、これ「空腕」
手の病氣「腿交差症候群」これも空腕！
この狂言では前者です。

福の神 祐善

ふくのかみ

茂山 宗彦

ゆうぜん

茂山忠三郎

「福の神」「祐善」二つの狂言のエンディングに謡い舞われる
目度い祝福の、そして追悼の、ことば二題。

延命袋

えんめいぶくろ

夫 茂山七五三
太郎冠者 山下 守之
女房 茂山 逸平

おでんの中に入っている「巾着袋」
あれを「えんめいぶくろ」と呼ぶそうなの？
さて、この狂言の袋には何がいいる？

第283回 令和8年8月21日(金)
午後6時30分開場・午後7時開演

解説

箕被

みかづき

男 茂山千之丞
妻 茂山 茂

夫婦の情愛をストレートに述べる佳作。
狂言にもこんなドラマがあったのだ！

舟船

ふねふな

太郎冠者 茂山あきら
主人 茂山七五三

「舟」「船」
フネとも読み、フナとも読み、シユウともセンとも読む？
とかく日本語はむづかしい！

犬山伏

いぬやまぶし

山伏 茂山忠三郎
出家 茂山千五郎
茶屋 山口 耕道
犬 井口 竜也

ワンちゃんが大好きな、お経あります。
それは「大非心陀羅尼」です。
あなたも覚えてオタクのワンちゃんに。

第285回 令和9年3月12日(金)

午後6時30分開場・午後7時開演

解説

子盗人

こぬすびと

盗人 茂山千五郎
乳母 茂山 茂
主人 茂山忠三郎

タイトルからすると人さらい？いえ、違います。
盗みに入って寝かしてある赤子を思わずあやしてしまう
間抜けなドロボウさんです。

察化

さつか

太郎冠者 茂山あきら
主人 茂山 宗彦
察化 松本 薫

油断も隙もならぬ今日この頃
都へ出て行って騙されぬよう「ご用心！」
狂言では騙す悪人をスツパと呼びます。

子の日

ねのひ

大宮人 茂山 逸平
乙女 鈴木 実

元旦にはお雑煮 一月七日は七草粥 十五日は小豆粥
初めての子の日には野へ出て若松を引きましょう。
東京には行かず 京都に残ったお公家様
冷泉為理さんが作った作品。